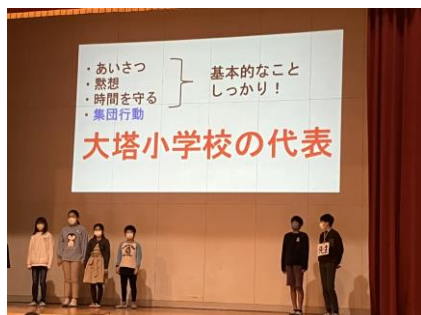




佐世保市立大塔小学校

所在地： 佐世保市もみじが丘町
6745番地

校長： 酒井 元 治

児童数： 541名

学級数： 23学級

学校教育目標： 子どもたちが自慢できる学校を

～やさしい心をもち

夢に向かってがんばる子ども～



1 目的と主な実践内容

テーマ 子どもたちが自慢できる学校を

～やさしい心をもち、夢に向かってがんばる子ども～

- ◎ はきものをそろえ、「ありがとう」と「ごめんなさい」が素直に言える子どもを育てる。
- 将来に対する夢やあこがれを抱き、年長者を敬うやさしい心を育てる。
- 「ふるさと・佐世保」に目を向け、豊かな自然を守り、住みよい環境をつくっていかうとする心を育てる。

「地域との絆」を深める取組

- ・地域への愛着と生活習慣の徹底を図る活動
- ・伝統を受け継ぐ～笑顔のバトンタッチ～（6年）
- ・自然やエネルギーについて考える環境学習（5年）
- ・佐世保の良さ発見ふるさと学習（3年）
- ・地域との絆を深める町探検（2年）
- ・幼稚園、保育園、地域との交流学習（1年）

確かな学びを支える学力向上の取組

- ・確かな学力定着を図る校内研修の充実と習熟度少人数指導の定着
- ・きめ細やかな支援を図る支援体制の充実
- ・全国、市、県学力調査（4～6年）の実施（4月）
- ・校内学力調査算数（全学年）の実施（1月）

「豊かな心」を育む取組

- ・「思いやり」と「本物の笑顔」を育む福祉学習（4年）
- ・見つめよう自分の成長（4年）
～大きな夢にむかって心をはぐくむ表現活動～
- ・芸術文化・スポーツ（ほんもの）への興味関心を高める体験学習
- ・愛校心をはぐくむボランティア活動

2 実践内容

(1) 「地域との絆」を深める取組

地域への愛着と生活習慣の徹底を図る活動（全学年・縦割り活動・集団登下校）	
取組の目標	○ 児童会スローガン「笑顔かがやく大塔小」のもと、あいさつで地域との絆を深める。 ○ 異年齢の交流を通して、年長者を敬う心と年少者への思いやりの心を育む。 ○ 栽培活動を通して、学校や地域への愛着や命を大切にしようとする心を育む。
取組の内容 実施時期 通 年	○ 子どもが自慢できる学校づくりとして「はきものそろえ」と「地域を元気にするあいさつ」に全校で取り組んでいる。 ○ 登校の見守りをしてくださっている方のベストを作成し配布した。「地域との絆」をアピールすることができた。 ○ 校区内の敬老会との交流活動（花の苗の栽培及び移植）をさせる。今年度も交流は行わず、花の苗植えの活動に取り組んだ。 ○ 栽培したプランターを地域の事業所等へ設置する。（日宇地区自治協議会との連携）
取組の成果	○ 児童会スローガンを掲げ年間を通して実践と評価を続けたことで、集団登下校で児童が笑顔で「元気なあいさつ」に、本気で取り組む姿が見られるようになってきた。



【通学路の落ち葉掃除をする6年生】



【6年生と1年生の苗植え】

(2) 確かな学びを支える学力向上の取組

一人一人に確かな学力を定着させるためのきめ細かな学習指導（全学年）	
取組の目標	○ 子どもたちの学習状況を把握し、一人一人に応じた学習指導を行う。 ○ 「わかる授業」への改善を図り、すべての児童に充実感と達成感を味わわせる。 ○ 学習状況をもとに適切な助言を行い、家庭と連携して望ましい学習習慣を形成する。
取組の内容 実施時期 通 年	○ 佐世保市の土台となる5つの考え方にに基づき、「『めあて』と『まとめ』を明確に位置づけた授業づくり」「つきたい力が明確に位置づけられた授業づくり」の共通理解・共通実践を通して、学力向上を図っていく。 ○ 2年間取り組んできた「自分らしく根拠をもって表現できる子どもの育成」～「学級の力」を土台とした学び合いのある算数科を通して～の校内研究テーマのもと、今年度も授業研究を行ってきた。継続と深化をスローガンとして今後も授業改善を進めていく。 ○ 4年生は市学力調査、5年生は県学力調査、6年生は全国学力学習状況調査をもとに実態をつかみ、授業実践を重ね、算数の学力テストを全学年で実施し、取組の成果と課題を考察し、更なる授業改善に取り組むサイクルで学力向上を図っていく。 ○ 特別支援教育コーディネーターを中心に、支援計画を毎日作成し、困り感のある児童に対して一人一人にあわせた細やかな支援体制の整備を行っていく。 ○ 家庭学習のしおりを全家庭に配付することに加えて、学習規律を教室に掲示し、家庭での学習習慣と学習規律の定着、更に繰り返し学習による基礎学力の定着を図る。 ○ クロームブックを活用した授業の研究、プログラミング教育の実施。
取組の成果	○ 学力テスト等の分析や、「学力向上の土台となる5つの考え」の中でも「めあてとまとめ」「つきたい力」の明確な授業づくりの取組に加え、「見方・考え方」を働かせた授業づくりの取組により、児童の学習意欲や理解が高まった。学校評価において「児童は、学習に意欲的に取り組んでいる」家庭（80%）「授業がわかりやすい」児童（78%）家庭（85%）という結果だった。



【算数科での学び合いの様子】



【校内研修での研究授業】

(3) 「豊かな心」をはぐくむ取組

「思いやり」と「本物の笑顔」を育む福祉学習（4年）	
取組の目標	○ 高齢者や体の不自由な人々との交流を通して、相手を思いやる気持ちを育む。 ○ 他者意識に立って考え、行動し、本物の笑顔あふれる社会をつくろうとする態度を養う。
取組の内容 実施時期 通 年	○ 佐世保市の福祉の現状について学び、他者の困り感を知る。 ○ ユニバーサルデザインについて学び、他者意識に立ち考え行動する大切さを知る。 ○ 学習したことをまとめ、最後にポスターセッションを実施した。
取組の成果	○ 社会福祉協議会と連携し、感染症の拡大防止にも気をつけながら、講師を招き有意義な学習ができた。（別室からのリモートによる授業） ○ 視覚障がいのある講師を招いての学習を行い、理解を深めることができた。



【福祉体験学習】